

H23 年度二国間クレジット取得等インフラ整備調査事業  
(途上国における政策連携のための基盤調査) シンポ

二国間クレジット制度の構築に向けたシンポジウム

主催：経済産業省、(財)日本エネルギー経済研究所

開催時期：2012年2月22日(水)10時~17時40分

開催場所：第一ホテル東京

(講演会)5階「ラ・ローズⅠ」

(レセプション)4階「プリマヴェーラⅡ」

参加費：無料

定員：100名(予定)

使用言語：日本語・英語(同時通訳付)

○ シンポジウムの目的

地球規模の温暖化問題や環境・エネルギー制約の高まりといった課題を解決し、経済成長と環境問題への対応を両立させるためには、我が国国内の努力に加え、我が国が有する低炭素技術の移転等を通じて、途上国の持続可能な発展に貢献していくことが重要。

低炭素化の取組を促進するツールの一つとして、我が国は、二国間の合意による「二国間オフセット・クレジット制度※」と呼ばれる新しい制度づくりを提唱し、アジア諸国を中心に制度構築のための政府間協議を実施している。

同制度の設計に当たっては途上国における政策を勘案し、例えば国別に適切な削減行動(NAMA)等の実施の促進の要素を組み込むことも期待されている。本シンポジウムでは、日本が提案する「二国間オフセット・クレジット制度(BOCM)」の概要や可能性について、フィージビリティスタディの採択国や二国間協議相手国を対象として認識の深化を図るとともに、内外の政府関係者及び産業界代表者、学識者等を交えて意見交換を行うことを目的とする。平成22年度及び平成23年地球温暖化対策技術普及等推進事業の内容や関連する事項について採り上げる。

また、シンポジウム終了後には、発表者と来場者の交流会も併せて開催する。

※我が国の低炭素技術等を通じた、途上国における温室効果ガスの排出削減・吸収への貢献を適切に評価し、日本の削減量としてカウントするもの。